

2007年3月15日

ミューチップ入りタオルマフラーで ライブチケットの偽造防止と本人確認を実現

「ORANGE RANGE」ファンクラブのライブツアーに、IC タグを活用した入場受付システムを提供

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、株式会社スパイスミュージック（代表取締役会長 兼 CEO：酒井 康雄、本社：東京都目黒区、以下 スパイスミュージック）、ぴあ株式会社（代表取締役社長：矢内 廣、本社：東京都千代田区、以下 ぴあ）の両社が主催し、2月26日～3月14日に全国6会場で開催された「ORANGE RANGE（注1）」のファンクラブライブツアー「AID JAM007」に、IC タグを活用した入場受付システムを提供しました。

このシステムは、ライブチケットの代わりに、ミューチップ（注2）入りの IC タグを縫い付けたタオルマフラーを、ライブの申込者に予め発送します。ライブの当日、入場受付で IC タグの ID を読取ることにより、チケットの偽造防止だけでなく本人確認を実施し、チケットの不正転売などを防止します。

「AID JAM007」は、「ORANGE RANGE」のファンクラブ会員限定のライブツアーです。そのため、チケットの偽造やネットオークションを利用した不正転売が心配されていました。

この問題解決のため、株式会社スパイスミュージック、ぴあ株式会社の両社は、業界初の試みとして、IC タグ入りのタオルマフラーをチケットの代用とするしくみを考案しました。日立情報では両社と共同で、タオルマフラー用の IC タグ約2万枚と入場受付システムを開発して「AID JAM007」に提供し、チケットの偽造防止と本人確認を実現しました。

RFID 市場は急速に拡大しつつあり、特に偽造防止の分野では、小型で真正性に優れたミューチップの活用が進んでおります。これを背景に日立情報ではパッケージ製品「Chipin シリーズ」をはじめ、ミューチップを活用したソリューションを数多く手掛けています。

<イベントの概要>

ORANGE RANGE ファンクラブライブツアー「AID JAM 007」

- ・期間：2007年2月26日～3月14日
- ・回数：全国6会場・全9公演
- ・来場者総数：約2万人（9公演合計）

<ミューチップ入りタオルマフラーについて>

ミューチップは袋状の IC タグに入り、タオルマフラーに縫い付けられています。万一の破損に備え、IC タグには管理番号が刺繍されています。



▲ミューチップ入りの IC タグを縫い付けたタオルマフラー

<入場受付システムについて>

ミーチップ入りタオルマフラーをライブ会場入口に設置した受付端末の読取り装置にかざすと、読取った ID をデータベースと直ちに照合し、ID の妥当性を確認できます。また、受付担当者は、表示された会員データを参照しながら本人確認ができるため、転売による不正な入場を防ぐ効果があります。

なお、個人情報は全てデータベースに管理され、タグには ID のみ記録されているため、IC タグから個人情報が流出する心配はありません。



▲タオルマフラーを受付端末に近づけて認証を行う来場者



▲会場ごとに色分けされたタオルマフラー



▲タオルマフラーを手に並ぶ来場者

(注 1) 「ORANGE RANGE」：スパイスミュージック所属。若者を中心に絶大な人気を集める沖縄出身の 5 人組ロックバンド。地元・沖縄でのストリートライブなど数多くのライブを経て、2003 年 6 月に「キリキリマイ」でメジャーデビュー。数々のヒットを生み出すとともに、精力的にライブ活動を行っています。

<ORANGE RANGE OFFICIAL WEB SITE : <http://www.orangerange.com/home.cfm>>

(注 2) ミューチップ：株式会社日立製作所が開発した世界最小クラスの無線 IC タグ。今回使用したのは、0.4 ミリ角のもの。128 ビットの読み出し専用データを製造段階で記録しており、ID の書き換えができないため、高い真正性が保証される。2005 年に開催された愛・地球博でも採用され、高い真正性と信頼性を証明した。

<報道機関のお問合せ先>

株式会社日立情報システムズ

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部広報・IR グループ 松林

Tel: 03-5435-5002

E-mail: press@hitachi.joho.com

以上